

総務経済常任委員会会議記録（概要）

平成28年11月21日（月）

開 会（午後1時45分）

【議 事】

○特定事件「危機管理・防災について」

・台風第9号の被害の検証について

青木委員長

はじめに、東川地下河川第2流入立坑、第1流入立坑の現地調査を行うこととしてよろしいか。

（委員了承）

休 憩（午後1時46分）

（※休憩中に、東川地下河川第2流入立坑、第1流入立坑の現地調査を行った。）

再 開（午後4時0分）

青木委員長

本日は、参考人として、埼玉県県土整備部川越県土整備事務所の職員の方の出席を求めましたが、現場での説明を行うことに代え、欠席する旨の返答がありました。そこで、本日の特定事件の議題について、協議をお願いします。

桑島委員

現地調査を実施して、いろいろな事情がだいぶわかってきた。また、その一方で、様々な関係者の皆様が県に説明を求めている中で、論点も明らかになり、その対応策についても姿が見えてきた。委員会としては、今回の調査結果も踏まえ、今後の河川の洪水を防ぐために、市に対して提言していくという方向性で議論したいと思う。具体的には、3点ほどあると思うが、1つ目は、学校や公園等の公共施設の中で、この貯水するという機能をどのように付加していくかということである。2つ目は、旧庁舎の跡地の建設工事が計画されているが、ここに地下貯水池を作ることでも、可能性としてはあるのではないかということである。3つ目は、しっかりと被災者補償をしていただくような形で活動してもらうことである。この3つを、これはいろいろ皆さんと議論すれば良いと思うが、提言として市に出していくというのはどうか。

秋田委員

今日の現地調査については、初めは所沢市議会災害対策会議で行こうかという話だったが、所管の委員会があるから、総務経済常任委員会で行けば良いのではないかという話になったので、それなりのことをやらないと議会としてまずいと思うし、豊洲の問題ではないが、議会は何をやっているのかということになるので、きちんと対応した方が良いと思う。

荒川委員

特定事件として継続して、まとまるどころまでやるべきではないかという意見だと思うが、それはそれで良いと思う。ただ、その際一般質問との

関係がある。9月議会で多くの質問をしたが、それがほとんどやられていないのではないかとこの疑問を持つ議員もいるので、特定事件として継続しても良いが、我々委員以外は12月議会の一般質問の拘束をしないという事でいかがか。

秋田委員

いずれにしても、12月議会で提言するなり、決議するなりした方が良い。各会派で承認をもらってやった方が良い。早く何かしないといけないと思う。

粕谷委員

そんなに時間がないということか。

秋田委員

議会中でも良いし、ある程度まとめてもらって、先ほど桑嶋委員が言った内容でも良いし、他にも加えてやった方が良いと思う。

粕谷委員

出すのであれば、埼玉県と所沢市の河川・下水道事業調整協議会を設立すると聞いている。あれをもう少ししっかりやってほしいと思う。それを入れた形でやった方が良いと思う。

島田副委員長

スケジュールを確認して、出していただいた4点ほどとその他ご意見をいただいて、例えばどこの学校がまだやっていないのかとか、そのあたりを調べて、その結果を踏まえた上で、私たちの方でそれを補う形の文言に

したいと思う。

桑島委員

公園に関しては、緑町中央公園がモデルである。そこの地下に大きいものをつくっている。それから学校については、美原中学校、安松小学校である。ただし、新河岸川総合治水対策であり、東川についてのものではない。

福原委員

先ほど県の資料で今後の取り組みということで4項目挙がっていたが、あくまでもこれは県の立場であることから、市の方で対応についてはどう考えたのか。また、そのように取り組みを強化するのか。また、防災計画との関連というか、警戒を超えて出た場合は、いち早く警戒システムを地元の方にどれだけ早く知らせるかということが課題だと思うので、そういう警戒システムの強化をどう考えているのかという確認も含めて、市のできること、市でやるべきことは役割をしっかりと果たせるような確認も検討してもらいたいということを付け加えたい。

桑島委員

最終日までには、調整して出して、秋田委員の言うとおりに、広報等で、こういうものを提案したというのが見えるような形にしないといけないと思う。

福原委員

罹災証明については、件数など最終的なものがまとまっていると思う。

その資料の確認もしておきたい。

荒川委員

保育園が大変で、埼玉県内では富士見市と所沢市の2市だけだった。国の補助が2分の1あって、県が4分の1で、あとの4分の1は事業者負担とのことだが、富士見市は市が負担した。

桑島委員

荒川委員から、12月議会における一般質問の扱いについて意見があったが、確認しておきたい。

青木委員長

12月議会中に、総務経済常任委員会が特定事件の審査をして提言をするというスケジュールの中で、一般質問として取り上げられるということになる。

福原委員

執行部も混乱すると思う。

桑島委員

12月議会中に提言としてまとめるので、12月議会中の一般質問は、我慢していただいた方がよいと思う。

福原委員

一般質問もよいが、議会として提言した方が効果は高いと思う。

秋田委員

もともと、議会で提言するつもりで進めていたことである。

桑嶋委員

今2つの論点が出ている。1つは提言に盛り込むべきもの、もう1つは執行部に確認すべきものの2つである。そこは分けて考えなくてはならない。

青木委員長

本日審査いたしました特定事件については、今後も継続して審査することから、12月定例会における一般質問については、議会運営委員会了承事項にもありますとおり、「特定事件と一般質問のあり方については、良識に任せることとする。」ということによろしいか。

(委員了承)

○特定事件「危機管理・防災について」

・大学生等の消防団への入団促進策について

青木委員長

特定事件「危機管理・防災について」のうち、大学生等の消防団への入団促進策については、「大学生等の消防団への入団促進策に関する提言」の正副委員長案を作成したので読み上げたい。

大学生等の消防団への入団促進策に関する提言

総務経済常任委員会

当委員会は、本年5月19日に千葉県千葉市を訪問して実施した淑徳大学学生消防隊に関する調査並びに11月10日に所沢市議会政策研究審議会から提出された答申書等を踏まえ、今後の本市における大学生等の消防団への入団促進策に関し、下記のとおり提言する。

記

- 1 大学生等の消防団参加に向けた取組として、大学生等と消防団の交流や意見交換の機会の設定について検討すること。
- 2 平成28年10月から開始された「所沢市学生消防団活動認証制度」について、大学生等に向けて、より広く周知していくことを検討すること。
- 3 市民の生活において、消防団の知名度の向上や存在感の増大のための施策として、「官学連携に関する基本協定書」を活用し、市内大学等の構内における消防団ポンプ車操法大会や特別点検の実施について検討

すること。

以上

このとおり、12月議会における常任委員長報告の中で報告すること
よろしいか。

(委員了承)

青木委員長

特定事件「危機管理・防災について」のうち、大学生等の消防団への入
団促進策については、審査を終結することよろしいか。

(委員了承)

次回の委員会は、12月定例会中の四常任委員会審査終了後に開催する
ことよろしいか。

(委員了承)

散 会 (午後4時29分)